

REPORT

「男女共同参画について学びたい」そんな思いを応援します!

東大阪市男女共同参画助成事業

市民の方々に、全国規模で行われる大会や研修等にご参加いただき(参加費の一部を補助します)、各地域で取り組まれているさまざまな最新事例や全国各地の関係者との交流等を通じて、男女共同参画についての知識を深め、男女共同参画の推進役として活躍していただきたいとの思いから取り組んでいる事業です。

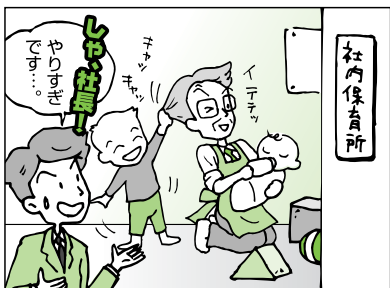
参加したみなさんのレポートが届きました!

平成18年度東大阪市男女共同参画助成事業の対象となったのは、「日本女性会議2006しものせき」と「男女共同参画全国都市会議 in うつのみや」。それぞれの大会に4名と2名の計6名の方が参加されました。何を学び、どんな出会いがあったのか。参加者の皆さんから届いたレポートを抜粋してご紹介します。

■日本女性会議2006しものせき
2006.10.6(金)▶7(土)
「We are~わからないから信じあう。
知らないから支えあう」

体当たり社長の

チャレンジ!



信頼を築く「出会い」と「対話」の大切さを知りました。

基調プログラムで山本美香さんは、アフガニスタン・イラクの戦争・内戦の現地に行き、現況取材の経験が話されました。…私は、このことから世界中どこにあって人と人との出会い・対話が厚い壁を破るのではないかと、そして信頼関係を築く事が大事であると思いました。

私にもできるかもしれない、そんな実感できる研修でした。

次世代に向け、何が求められているか、今考えられることは何かと、現場の当事者の関わりの中で生まれたメッセージは生きた参考書だ。私にもできるかもしれない、そんな感じがした。…自分を大切に生き、人を大切にする豊かなところが育つと信じられる研修となりました。

さまざまな地域の報告を参考に、今後も福祉活動にチャレンジ。

分科会は、「地域福祉づくり」に参加。…新潟県の中越大地震の時、災害時も家庭・職場・地域の男女共同参画が必要であり、行政も被災者の声を積極的に支援することが大事である等々。地域において老人クラブ、老人ホームの手伝いをしている者として参考になりました。

男女共同参画のために、1人ひとりが意識の変化が必要。

東洋大学経済学部教授白石真澄氏は、…男女共同参画推進のために1人ひとりが意識を変える必要があり、男女が責任を分かち合い協調していく時代であると熱く語られました。…この経験を現在の活動に反映できるようにこれからも自分のペースで学習していきたいと再認識した2日間でした。

■男女共同参画全国都市会議 in うつのみや 2006.10.26(木)▶27(金)
「あなたとわたし ときめく未来へ 輝く個性」

納得できる生き方のために、男女を問わず自己研鑽を。

雇用・能力開発機構の須藤さんからワークライフバランスについてお話がありました。自律的にバランスの取れた生き方をするには、特に女性について育児や介護などについて環境が厳しく、行政が環境を整えるために介入することに賛成です。…自分の納得がいく生き方をするには、男女を問わず自己研鑽を続けていかなければならないと感じました。

「自分らしく生きる」ことが、男女共同参画の目的に。

…初めて知った言葉が二つありました。「バックラッシュ」と、「ワークライフバランス」です。…一見全く関係の無い二つの言葉ですが、同時に語られることには意味があるのではないかと思います。…女性解放という言葉の延長にある男女共同参画ではなく、「自分らしく生きる」ための男女共同参画への転換が必要時期になってきていると感じました。

平成18年度東大阪市男女共同参画助成事業に参加した皆さんの報告書全文を冊子にまとめました。男女共同参画課および男女共同参画センターの情報資料室で閲覧できますので、ぜひ一読ください。希望者の方には配布しております。

